

FJISS 温室効果ガス削減技術概要情報

企業名	GHG 削減技術カテゴリ	対象施設等	FJISS 登録年月
大成建設株式会社	排出削減技術	処理場, ポンプ場	2022年6月

項目	内容
商品（製品）名	T-Sulfatec®コンクリート（耐硫酸コンクリート）
特徴	特殊な混和剤を使用して硫酸に対する腐食速度を通常のコンクリートの1/10以下に低減したコンクリートであり、腐食した施設の断面修復や防食に用いる。樹脂による防食被覆を用いずに長期のメンテナンスフリーが可能となるため、コンクリートの補修や防食被覆の更新に伴い発生するGHGを削減する。
仕様	<ul style="list-style-type: none"> 硫酸浸透深さ（JIS A 7502）：≦3.5mm 自己充填型の高流動コンクリート（最小施工厚さ約35mm）
推奨規模 設置箇所等	膨れや剥がれの懸念がないため長期の耐用が可能であり、運転を停止できない施設や補修が困難な部位への適用が効果的である。期待する耐用年数と腐食環境（硫化水素濃度）に応じて施工厚さを設計できる。
省エネ、CO2削減性能等	・下水道施設の修繕・防食に係るCO ₂ を削減
導入実績	処理場の断面修復と防食：3件，計2800m ²
技術認証登録等	建設技術審査証明（審査証明第2004号）
詳細情報 URL	https://www.taisei.co.jp/giken/report/2021_54/#pageDetail-14
問い合わせ先	技術センター 社会基盤技術研究部 材工研究室 045-814-7221（代表）

通常コンクリート vs 耐硫酸コンクリート

下水処理場における曝露試験後の試験体の状況（斜線部が腐食（溶解）した範囲）

a) 充填工法（型枠にアクリルを使用して流動を確認）

b) パネル工法

耐硫酸コンクリートの適用方法

補修前 vs 補修後

下水処理場の補修事例

注）本技術の内容は、企業からの情報をそのまま掲載しており、FJISS が保証するものではありません。